2012.5／No.938

◀定期交通指導の様子。
街頭に立ち、町の安全を見守る。

マチノチカラ

長洲の輝く人にクローズアップ vol 16

安全とは愛情を持って互いを思いやる心なんです。

町の安全を見守り続けるのが私の使命

荒尾地区交通安全協会副会長兼長洲支部長

組脇　勝利さん

68歳　西荒神区

PROFILE

くみわきかつとし

長洲小、長洲中卒業後、玉名市にある自転車店で勤務後、28歳のときに現在の組脇商会を起業。昭和63年荒尾地区交通安全協会長洲支部長に就任。他にも、同協会副会長、地域交通安全活動推進委員荒尾地区会長も務め、平成24年4月には西荒神区の区長に就任。趣味はビーチバレー。

「安全を守るのは私の使命」。

そう話すのは「荒尾地区安全協会」の長洲支部長を務める組脇さん。33歳で町の安全協会委員に就任し、今年で36年目の春を迎えた。

昭和52年、当時の派出所から声を掛けられ同協会に入会。周囲の推薦もあり、昭和63年、同協会の長洲支部長に就任した。

組脇さんの普段の仕事は、自転車やバイクの販売。仕事上、安全に対する意識も高い。「購入した人には、安全に使ってほしい」との思いから「運転に対する危険を意識してもらうために、運転の際に心がけることを伝えるようにしています」と安全に対する呼びかけを忘れない。その結果、これまで購入者で大きな事故にあった人は一人もいないという。「自分としては、安全も一緒に売っているという感覚なんです。安全運転を願うからこそ、安全を守ることに使命を感じています」と表情を引き締める。

安全協会の活動は、主に▼春と秋に行われる全国交通安全週間や、毎月1、10、20日の定期的な街頭指導▼行政からの要望を受けての交通指導―など多岐に渡る。また、協会の活動とは別に、小中学校で児童・生徒の自転車の無償点検を20年以上前から行っており、子どもたちの安全を見守っている。平成22年には、このような功績が称えられ、交通栄誉賞緑十字銀賞を受章した。「35年はあっという間でしたが、これも長年やってきたご褒美かな」とほほ笑む。

「これまで長年活動を続けても大変だと思ったことは一度もない」ときっぱり。「安全を届けるのが私の使命。だから大変なんて思いません。何より活動を通じて色んな人と交流できるのが楽しいんです」とこれまでを振り返り、「これからも体力が続く限り続けていきたいですね」と意気込む。

「安全とは愛情を持って、お互いを思いやる心です」と話す組脇さん。

そのまなざしは、町をこれからも安全にしたいと願う強い思いで溢れている。

発行／熊本県長洲町　編集／まちづくり課
URL http://www.town.nagasu.lg.jp/
〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766
☎0968（78）3111
■印刷／コロニー印刷
※この広報紙は地域環境にやさしい植物油型インキを使用しています。